

21世紀ニューモデル

SCOOP▶▶▶

12月連発

149

フィアットと共同開発の
ミドルサイズ・ミニバンプジョー
807

予想発表時期01年

Text:Nobu Itoh



APOLLO

プ

ジョー806の後継車となる807はコードネーム「V2」、01年のデビューだ。806はプジョー・シトロエン・グループとフィアット・ランチャ・グループが協同開発・生産し、それぞれのブランドに兄弟車がいる。フィアットがGMと組んだのは開発が進んでからだったので、次世代でも兄弟車の構図は変わらないよ

150

予想発表時期01年

プジョー

307

01年デビュー予定の
プジョー版ゴルフ

APOLLO

うだ。プジョー807はフラッグシップの607と多くのデザイン要素を共有し、また室内は6人乗り。エンジンは2.2ターボディーゼル、2.2ガソリン、3.0V6の3機種。トランスミッションは5速MTが標準設定、オプションで5速AT。パワートレインは現行はフィアット製だったが、新型はPSA製が4兄弟に供給される。

152

予想発表時期01年
シトロエン

C6

原点回帰!?
ユニークな高級車

99年ジュネーヴショーで発表されたシトロエンC6は当時からフラッグシップとしての量産化が予想されており、その時期は02年と予想される。ジュネーヴのショーカーには「リニアージュ」=伝統というサブネームがついており、シトロエンの原点回帰というべきクルマだ。DSやCXのようないかにもシ

トロエンらしいエキセントリックな雰囲気を感じられる。全体的なエクステリアデザインもXMというよりは、むしろDSやSM、CXに近いものだ。プラットフォームはプジョー607と共有。XMの生産はすでに終了しているのだから、量産デビューはひょっとしたら早まるかもしれない。

プ

ジョー306の後継車
コードネーム「T5」、

ソシオーのゴルフ（ソシオーはプジョーの本社所在地）と呼ばれる戦略車種が307だ。発表は01年予定だが、パリサロンでコンセプトカー・プロメテとして事実上のデビューを果たした。プラットフォームはシトロエンC5（00年内に発売予定のエグザンティア後継）と共通だ。エンジンはガソリンが1.4、2.0、ディーゼルは1.6、2.0と幅広い車種展開が予想されている。また新開発シークンシャルATがオプション設定されるという。クーペ、セダン、カブリオレなどの派生車も当然期待される。量産型ハッチバックをデザインしたのはピニンファリーナだ。

151 予想発表時期02年
プジョー407

マイナーチェンジ版がやっと日本に導入されたプジョー406だが、本国では兄弟車のシトロエン・エグザンティアがC5に進化した。したがって406の後継車407も02年までには登場するだろう。C5の暫定スペックから推測すると、407も若干の上級移行するはずだ。

153

予想発表時期01年
シトロエン

C3

シトロエンが提案する
ニューベーシックカー

98年パリサロンで発表されたシトロエンC3の量産デビューは01年の予定。シトロエンは「21世紀の2C」だ。このコンセプトはコンパクトでベシクなフアミリーカーという意味で、もはや2CはVほどシンプルなクルマではない。サクソと市場セグメントは同じでも、スタイルが大きく異なるのでサクソも、発表時はやや奇異に映ったそのスタイルも、C6、C5と後継が現れると、シトロエンはどうやら本気らしいことがうかがえる。ただし、このままでは安全性への問題から市販化は不可能だ。